

# 1. 平成27年度事業報告

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

## 【企画運営活動】

### 1. 第32回社員総会

平成27年5月22日、大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1丁目8番4号）において開催した。

代議員総数148名のうち、114名（内17名出席、委任状97名）が出席し、代議員の過半数である定足数を満した。第32回社員総会は成立したことを確認した後、次の議案を審議し、満場一致で承認決議を行った。

- (1)平成26年度事業報告承認の件
- (2)平成26年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件
- (3)平成27年～28年度役員選任の件
- (4)その他

報告事項1. 平成27年度事業計画書報告の件、報告事項2. 平成27年度収支予算報告の件、報告事項3. 新終身会員報告の件

### 2. 理事会（4月22日、5月22日、8月27日、12月9日、3月30日）

本会の意思決定機関として、本会の事業活動を担っている事業企画委員会、会誌編集委員会、各種委員会、特別委員会等の活動状況の報告をうけ、定款によって定められた審議事項並びに会全体の運営に係わる事項及び公益支出計画実施報告書についての審議・決定した。

### 3. 委員会

会長の諮問に答え、また委員会規定に基づき各種の業務執行にあたる。平成27年度は下記15の委員会を開催した。

- (1)会員増強委員会（1回）（8/27）

委員会では化学、化学工業関連分野はもとより会に有用な会員獲得のための勧誘活動方法等を審議して理事会に提案した。

- (2)財務委員会（2回）（12/2、3/28）

本会の予算案の編成並びに経理と財務を掌理し、長期的財政の安定を図るために委員会を2回開催し、本年度の予算の執行、次年度の予算について審議した。

- (3)事業企画委員会（6回）（4/21、6/12、8/21、10/21、12/8、2/12）

本会の目的達成のため必要な事業の企画と実施するために委員会を6回開催した。

- (4)会誌委員会（12回）

（4/13、5/7、6/8、7/13、8/12、9/11、10/9、11/16、12/14、1/5、2/4、3/11）

会誌の編集、刊行を掌理するために委員会を12回開催した。

- (5)技術賞委員会

化学技術賞審査委員会（1回）（3/18）、技術賞委員会（2回）（8/24、12/2）

表彰規定に基づき化学技術賞授賞者及び環境技術賞授賞者の選考を行う為に技術賞委員会2回と審査委員会を1回開催し、平成27年度の授賞者を選定した。

- (6)人事委員会（2回）（8/18、3/14）

平成27年度は事務局職員給与及び契約職員の時給について審議し、理事会へ提案した。

- (7)総務委員会（1回）（3/16）

平成27年度は、総務的事項並びに他の委員会に該当しない事項で、協会の運営上

必要かつ重要な事項について審議し、理事会に提案した。

(8) 合同事務局運営委員会（2回）（6/24、10/26）

一般財団法人大阪科学技術センタービル608号室に同居する化学系の学術5法人の運営に関する事項について2回の委員会を開催し、部屋代・人件費・社会保険料・事務局運営経費等の分担経費を決定した。

(9) 国際交流委員会（1回）（12/9）

交流協定書を締結している韓国工業化学会の行事内容及び上海化学産官学交流会・上海サロンの内容などを本会機関誌および連絡拠点を通じて大学、企業に周知して参加を促した。また、より広い地域との交流事業企画について審議し理事会へ提案した。

(10) 女性委員会（3回）（12/2、3/2、3/17）

本会が広く女性化学者の集う場となるべく、具体的な事業の企画立案を行った。

(11) 情報化委員会（1回）（9/2）

本会の効率的・効果的運営に必要な情報化社会システムの活用について企画、推進した。

(12) 将来構想WG（2回）（5/8、1/7）

4年後に迫った本会創立100周年記念事業や本会の将来問題の検討を行うためにWG会議を2回行った。

(13) 代議員選挙管理委員会（2回）（4/6、3/7）

平成28年4月1日就任の代議員の選挙実施に伴い理事会から独立した委員によって選挙の管理を行った。

(14) 代議員候補者選考委員会（2回）（9/16）

平成28年4月1日就任の代議員の選挙実施に伴い理事会及び代議員選挙管理委員会から独立した委員によって代議員候補者の選考を行った。

(15) 監査会（1回）（4/22）

定款第25条に掲げる監事の業務を執行する為に①理事会に出席、②監査会を1回開催した。

**【国際研究集会・国際交流事業】**（公益目的事業1）

多くの日本の研究者及び化学系企業が進出している海外の下記拠点において大学・研究機関・企業の技術者を対象とした技術交流会（学術講演会・見学会）を開催し、学術研究や異種産業技術間の連けい・交流の場を提供する。会員・非会員に関係なく広範に参加を募り、我が国科学技術の振興と社会経済に貢献することを目的とする。

1. 韓国工業化学会との交流

平成27年度は情報交換および化学啓発行事である韓国化学工業会の年次大会の内容などを本会の会誌および韓国の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

2. 韓国蔚山工業誘致協会(精密化学品工業センター)との交流

上記同様年次大会の内容などを本会の会誌および韓国蔚山工業誘致協会の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

3. 日中化学産官学交流

第9回上海化学産官学交流会（11月6日・上海交通大学・参加者82名）及び上海サロン（11月6日・上海市の紋兵衛・参加者19名）の内容などを本会の会誌および中国の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

## 【優れた研究業績の顕彰事業】（公益目的事業2）

化学工業振興の見地より若い研究者および技術者の優れた業績を発掘するとともに、化学技術の発展に向けての更なる貢献を期待し、その業績をたたえ激励することを目的として、化学技術賞・環境技術賞を設けて顕彰を行う。

1. 平成26年度第67回化学技術賞授賞者3件・12名並びに第15回環境技術賞授賞者1件2名を第32回社員総会の席上にて表彰した。  
定款及び表彰規定に基づき、化学技術賞等選考委員会にて選定された技術者の表彰を行った。

2. 平成27年度第68回化学技術賞並びに第16回環境技術賞の審査、選定を行った。  
(3月18日)

### 第68回「化学技術賞」

平成27年度内における化学に関連する研究・技術で、工業化したもの、工業化しうるもの、工業化への寄与が著しいもので、特に顕著な業績のあった者を、本会の定款及び表彰規定に基づき、第68回「化学技術賞」授賞者として、3件・11名を選定した。

### 第16回「環境技術賞」

平成27年度内における化学に関連する研究・技術で、地球環境との共存並びにその維持・改善を積極的に意識し、方向付けがなされた新技術・改良技術で、特に顕著な業績のあった者を、本会の定款及び表彰規定に基づき、第16回「環境技術賞」授賞者として、3件・9名を選定した。

## 【人材育成のための研修事業及び能力開発事業】（公益目的事業3）

### 1. 研修塾

#### 第37期（塾生25名）

会員企業より選抜された30歳代の技術者、研究者を対象に1年を通じて人格並びに人脈形成を図った。明日の産業界を担う次代の人材育成を主旨に、自らに討議主題を課すと共に自らの頭で考える力を涵養し、また、第一線でご活躍の講師を招いて、その人間性や思想に触れる中でお互いに研鑽し、資質を磨き、人脈並びに人格形成を図るために本講座6回、自主講座6回を開催した。

(本講座)

第1回・4月11日・大阪科学技術センター

①塾頭、副塾頭挨拶

②自己紹介

③塾頭講話「キンカ玉条」

大阪工業大学教務部長・工学部応用化学科 教授 益山 新樹氏

④副塾頭講話「脳の働きと学習」

京都大学名誉教授 梶 慶輔氏

⑤副塾頭講話「研究の色とかたち」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松本 章一氏

第2回・6月6日・大阪科学技術センター

①「技術者倫理を考える」

中村 収三氏

②事例研究とグループディスカッション

第3回・8月1日・大阪科学技術センター

①「味と匂いを測るバイオデバイスに関する研究開発」

九州大学大学院システム情報科学研究院 主幹教授

九州大学味覚・嗅覚センサ研究開発センター センター長 都甲 潔氏  
②「プラスチック成形加工技術の進展：プラスチック材料の高機能化に向けて」

静岡大学 客員教授／(株)日本製鋼所 社友 酒井 忠基氏  
第4回・10月3日・大阪科学技術センター

①「嘘つきは小説家の始まり」 小説家 堂垣 園江氏

②「濡れ—この身近にして奥深い現象—」

大阪大学工学部 客員教授／元花王(株)／元北海道大学 教授 辻井 薫氏  
第5回・12月5日・大阪科学技術センター

①「乾燥の物理」 北京航空航天大学ソフトマター物理センター 教授 土井 正男氏

②「新時代のエンジニア育成を目指して“ロボティクス&デザイン工学部(仮称)”でのイノベーション教育」 大阪工業大学工学部ロボット工学科 教授 松井 謙二氏

第6回・2月6日・大阪科学技術センター

①「リーダーシップとチームワーク」

(株)コスモ情報センター 代表取締役 岡市 敏治氏

②「スポーツと市民参加型社会」 鹿屋体育大学 准教授 前田 博子氏

(自主講座)

第1回・5月15日～16日・ホテルラフォーレ琵琶湖

①自己・自社PR

②合宿：ホテルラフォーレ琵琶湖

第2回・7月3日～4日・ライオン(株)明石工場

①見学：ライオン(株)明石工場

②講演：ハブラシの技術に関して

ライオン(株) オーラルケア研究所 副主席 小林 利彰氏

③合宿：ホテルクラウンパレス神戸

第3回・9月11日～12日・サントリースピリッツ(株) サントリー白州蒸溜所

①セミナー・見学・品質セミナー〔シングルモルトセミナー〕と蒸溜所見学

②合宿：ホテルクラウンパレス神戸

第4回・11月20日～21日・トヨタ自動車九州(株)宮田工場・ハクハク

①見学：トヨタ自動車九州(株)

②見学：ハクハク

③合宿：アコードホテル

第5回・1月15日～16日・新日鐵住金(株)大分製鉄所・西日本地熱発電(株)湯山地熱発電所

①見学：新日鐵住金(株)大分製鉄所

②見学：西日本地熱発電(株)湯山地熱発電所

③合宿：ゆわいの宿竹乃井

第6回・3月11日～12日・中部電力(株)浜岡原子力発電所・原子力館

①見学：浜岡原子力発電所・原子力館

②合宿：THE GEN' S HOTEL浜松駅南口

## 2. 学術セミナー・講習会

本会の目的達成をするために事業企画委員会で化学に関する専門的な学術セミナー・学術講習会・学術講演会・見学会等の開催により、科学技術の普及・振興を図る。

第20講「研究開発リーダー実務講座2015」—企業の未来を担う理想の研究開発リーダー

一像とは？（6月3日～11月4日・大阪科学技術センター／毎月1回開講・全6回）

第1回（6月3日）：「研究開発リーダーのあり方」（62名）

①「弱者の利一小が大を制する弱者の戦略とはー」

ボストンテクノロジーマネージメント 社長 小野 光則氏

②ディスカッション

第2回（7月1日）：「技術者の挑戦」（60名）

1. 話題提供

①「富士フィルムの挑戦、技術者の挑戦」

富士フィルム(株)R&D統括本部技術戦略部 統括マネージャー 中村 善貞氏

②「舞台裏で繰り広げられた創薬のドラマー睡眠薬ロゼレムの誕生秘話ー」

武田薬品工業(株)医薬研究本部化学研究所 所長 内川 治氏

2. ディスカッション

第3回（8月5日）：「人材育成と活用」（56名）

1. 話題提供

①「研究開発における女性人材の育成」

住友化学(株)人材開発部 ダイバーシティ推進リーダー 中山由美子氏

②「経営者からみた技術人材のあり方」

(株)日本触媒 相談役 近藤 忠夫氏

2. ディスカッション

第4回（9月2日）：「知財の活用/新規市場の創出」（52名）

1. 話題提供

①「世界の知財ビジネス最前線と日本の知財戦略」

山本特許法律事務所 弁理士 山本 秀策氏

②「CD-Rの事業化とライセンス戦略」

元太陽誘電(株)・名古屋工業大学産学官連携センター 教授 浜田恵美子氏

2. ディスカッション

第5回（10月14日）：「R&Dから工業化へ」（46名）

1. 話題提供

「光学分割用キラルカラムの開発・研究から工業化への道のり」

元(株)ダイセル・YTテクノフロンティア 代表 渡加 裕三氏

2. ディスカッション

第6回（11月4日）：「R&Dから工業化へ/R&Dマネジメント」（56名）

1. 話題提供

①「企業における独創的な研究開発の進め方ー手振れ補正などの基本的発明からスマート家電の事業化まで」

パナソニック(株)R&D部門 顧問 大嶋 光昭氏

②「日東電工の技術戦略と継続的な多軸の創出-サステナブル企業を目指して-」

日東電工(株)専務執行役員 CIO 経営インフラ統括部門長 表 利彦氏

2. グループディスカッション

近化高機能材料セミナー「絶対に負けない日本の高機能膜分離技術～水処理から、発電、CO<sub>2</sub>分離まで～」・9月30日・大阪科学技術センター（57名）

①「正浸透膜技術を中心とした水処理膜技術の開発動向」

神戸大学大学院工学研究科 教授/先端膜工学センター長 松山 秀人氏

②「RO膜の開発と水処理における省エネルギーへの取り組み」

日東電工(株)メンブレン事業部開発部 主事 川島 敏行氏

③「ロバストRO/NF膜の開発と各種分離プロセスへの展開」

広島大学大学院工学研究院化学工学専攻 教授 都留 稔了氏

④「多孔性硬質カーボン膜：RO/NF膜としての性能と天然ガス開発への応用展望」

国立研究開発法人物質・材料研究機構先端的共通技術部門

高分子材料ユニット ユニット長 一ノ瀬 泉氏

⑤「CO<sub>2</sub>選択透過膜の開発とその応用」

(株)ルネッサンス・エナジー・リサーチ 代表取締役社長 岡田 治氏

⑥「ゼオライト膜を用いたバイオエタノール脱水システムの開発」

日立造船(株)技術開発本部技術研究所

環境エンジニアリング研究センター 熱・プロセスグループ長 藤田 優氏

近化電池セミナー「最新キャパシタ技術の現状と展望」・11月20日・大阪科学技術センター（41名）

①「電気二重層キャパシタの車両への応用」

(株)本田技術研究所 四輪R&Dセンター 主任研究員 野口 実氏

②「ナトリウム系電解液の基礎物性と蓄電デバイスの適用」

産業技術総合研究所エネルギー・環境領域電池技術研究部門 主任研究員 倉谷健太郎氏

③「水系スーパーキャパシタ：酸化電極を利用する利点と課題」

信州大学環境・エネルギー材料科学研究所 兼 繊維学部 教授 杉本 渉氏

④「リチウムイオンキャパシタとプレドープ技術」

J S R (株)先端材料研究所 主任研究員 安東 信雄氏

⑤「走行中ワイヤレス給電が生み出すクルマ社会とキー技術～モータ/キャパシタ/ワイヤレス～」

東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 堀 洋一氏

第7回ファインバブル技術講習会「ファインバブル技術の最新動向と計測技術の実演～ファインバブルの測定と応用事例～」・12月18日・大阪科学技術センター（49名）

①「マルチスケール混相流方程式によるマイクロバブル合・反発挙動解析の試み」

京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻 教授 功刀 資彰氏

②「ファインバブルによる管内摩擦抵抗低減技術とファインバブルの植物栽培への適用」

滋賀県立大学工学部機械システム工学科 教授 南川 久人氏

③「ファインバブルを活用した排水処理とハイドレート生成」

名古屋大学院工学研究科分子化学工学分野 准教授 安田 啓司氏

④「ループ流式OKノズルの特徴と応用事例」

(有)OKエンジニアリング 代表取締役 松永 大氏

⑤「CellAquaSS01で生成した酸素微細気泡水の特性とバイオフィームへの適用と浸透殺菌効果」

サンスター(株)ライフサイエンス事業部研究開発部 マネージャー 岡 徹氏

⑥ファインバブル発生・計測技術実演展示会

新春セミナー2016・1月22日・ヒルトン大阪（70名）

「季語でめぐる日本列島の自然」

京都造形芸術大学 学長 尾池 和夫氏

第13回キンカ高分子化学研修コース・3月2日・大阪科学技術センター（31名）

①「高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術」

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授 中 建介氏

②「高分子の重合プロセス～乳化重合などの微粒子分散ラジカル重合反応の基礎」

福井大学大学院工学研究科 准教授 鈴木 清氏

③「高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合」

住友重機械プロセス機器(株)営業部 兼 エンジニアリング部 主席技師 彌富 隆一氏

④「高分子材料の成形加工品の評価～ユーザーから見れば」

大阪ガス(株)エネルギー技術研究所 シニアリサーチャー 樋口 裕思氏

⑤「機能性高分子の開発事例～高吸水性樹脂を中心に」

元三洋化成工業(株) 増田 房義氏

### 3. 学術講演会

本会社員総会終了後の特別講演会として5月22日・大阪科学技術センターで開催した。

特別講演会・5月22日・大阪科学技術センター(80名)

「出家としての科学界」

花園大学文学部教授 佐々木 閑氏

### 4. 見学会(科学技術週間協賛行事)

科学技術の普及啓発活動の一環として、科学技術に関し、ひろく一般国民の関心と理解を深め、もって我が国の科学技術の振興を図ることを目的に下記見学会を実施した。

科学技術週間協賛行事「家電リサイクル工場の見学会」・4月15日

・関西リサイクルシステムズ(株)(21名)

①「『また会おうね』家電リサイクルの流れDVD鑑賞」

②「関西リサイクルシステムズ(株)会社概要・取組みについて紹介」

関西リサイクルシステムズ(株)見学担当者

③見学会：関西リサイクルシステムズ(株)

### 【化学に関する知識普及及び情報の提供事業】(公益目的事業4)

会誌「近畿化学工業界」を月刊誌として、化学工業に関する広巾な知識の普及と情報の提供を行うこと及び情報の交換の場とすることを目的として発行する。記事内容は共通する事項を網羅して、専門以外の幅広い化学分野の最先端の動きを掲載することにより、化学技術の普及と振興を図る。

1. 会誌「近畿化学工業界」(月刊) 第67巻第4号～第12号(通巻744号～通巻752号)、第68巻第1号～第3号(通巻753号～通巻755号)

### 【技術交流事業】(共益事業1)

特定分野に限らない学術講演会・サロン・見学会・交流会の開催により、科学技術の普及、振興を図る。

1. キンカ東京サロン

東京在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学(科学)に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

第122回・4月16日・住友化学参宮寮(17名)

「触媒化学で化学産業の根底を組み直す」中央大学研究開発機構 教授 岩本 正和氏

第123回・6月26-27日・和光純薬工業(株)湯河原研修センター(9名)

「水族館の巨大水槽に挑む～水槽大型化の立役者は「アクリル樹脂」」

(有)シーアールティ 開発本部長 神林 巽氏

「人間、万事塞翁が馬-おどろき、桃の木、山椒の木-化学へ飛び込む」

KY企画 代表 石川 洋介氏

第124回・9月18日・住友化学参宮寮（12名）

「上手に混ぜる：ナノ・マイクロスケールの材料化学への挑戦」

東京工業大学資源化学研究所 教授 彌田 智一氏

第125回・11月19日・住友化学参宮寮（17名）

「おもしろいぞ！化学～研究の連鎖、そして生まれた夢」

ユニクス(株) 代表取締役 竹林 貴史氏

第126回・2月18日・住友化学参宮寮（14名）

「新薬創製の現状 ～人々の健康に貢献するため、3万分の1を目指す壮大な挑戦～」

帝京大学薬学部 特任教授 夏刈 英昭氏

## 2. キンカ京都化学者クラブ

京都在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

毎月第1土曜日を原則として京大会館にて開催

第298回・4月4日・京都大学楽友会館（20名）

「分析化学における化学平衡計算をいかに教えるか-簡易分子模型と表計算ソフトの利用-」

京都教育大学理学科 教授 向井 浩氏

第299回・5月9日・京都大学楽友会館（15名）

「琵琶湖水圏における水生植物の重金属集積」

滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科 准教授 原田英美子氏

第300回・6月6日・京都大学楽友会館（14名）

「マルチブートに失敗。パソコンが動かなくなった-「BTX-Halted」って何だろう。」

元三洋電機(株)研究開発本部 黒木 和彦氏

第301回・7月4日・京都大学楽友会館（15名）

「遠紫外分光法を用いた基礎研究とその分析応用」

近畿大学理工学部 講師 森澤 勇介氏

第302回・8月1日・京都大学楽友会館（15名）

「コロイド分散液の美しい世界」

岐阜大学名誉教授 大久保恒夫氏

第303回・9月5日・京都大学楽友会館（30名）

「弥生人の原郷と日本語のルーツ：サンスクリット起原説」

京都大学名誉教授 梶 慶輔氏

第304回・10月3日・京都大学楽友会館（15名）

「物理・化学環境（光・水温・栄養塩）とプランクトン群集構造からみた古代湖：バイカル湖と琵琶湖」

京都大学名誉教授 中西 正己氏

第305回・11月14日・京都大学楽友会館（38名）

一般財団法人海洋化学研究所69周年秋季講演会

第306回・12月5日・京都大学楽友会館（11名）

「材料工学における組成分析の高度化と大衆化をどのような実現するか？

—中小企業支援のための公設試での取り組み30年—

地方独立行政法人大阪市立工業研究所無機環境材料研究室 室長 河野 宏彰氏

第307回・1月9日・京都大学楽友会館（12名）

新春賀詞交歓会

第308回・2月6日・京都大学楽友会館（19名）

「金碧の真実—光琳の紅白梅図」

箔屋野口4代目当主 野口 康氏



第309回・3月5日・京都大学楽友会館（11名）

「振動分光法で見る溶液-不凍液の化学構造解析-」

京都大学化学研究所助教 下赤 卓史氏

### 3. キンカつくばサロン

筑波在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

第17回・3月10日・筑波大学（55名）

「躍動する藻類バイオマス研究」

筑波大学助教 渡邊 信氏

### 4. 新年交歓会

化学並びに化学工業界の発展に尽くされた名誉会員をはじめ、大先輩をお招きして、産官学の会員約200名が一堂に会して、化学技術に関する情報交換と交流会を行った。

第70回新年交歓会・1月22日・ヒルトン大阪（189名）

### 5. 化学技術アドバイザー会（キンカCA）

アドバイザー登録者（近畿化学協会正会員の有志108名）による自主運営とし、近畿化学協会での位置づけ（組織図）は、研究部門委員会（専門部会・目的研究会）の規定を準用する体制のもとで活動を行う。

会員企業及び一般企業から依頼により無料技術相談を行う活動と工学倫理研究会、化学教育研究会、安全研究会、MOT研究会では登録会員間の情報交換・懇談会及びこれまでの経験を生かした社会への貢献、啓発活動を行う。

無料技術相談日：随時対応

アドバイザー情報交換・懇談会（年4回）

工学倫理研究会：原則毎月1回（第4月曜日）

化学教育研究会：原則毎月1回（第2水曜日）

安全研究会：原則毎月1回（第1月曜日）

MOT研究会：原則毎月1回（第3水曜日）

【無料技術相談】 8件

【年次大会】 6月1日（32名）

【情報交換・懇談会】 8月24日（18名）、11月24日（29名）、2月22日（25名）

【工学倫理研究会】

工学倫理の教授法について意見交換を重ねるとともに、大学・学校などへ講師の推薦を行った。

第126回（4/27・25名）、第127回（5/25・18名）、第128回（6/22・24名）、  
第129回（7/27・23名）、第130回（9/28・20名）、第131回（10/26・20名）、  
第132回（11/24・22名）、第133回（12/21・19名）、第134回（1/25・11名）、  
第135回（2/22・20名）、第136回（3/28・24名）

【化学教育研究会】

学生（小学生から大学院まで）を対象として地球環境・産業に関わる化学教育支援および専門化学教育支援を行った。

第133回（4/8・15名）、第134回（5/13・12名）、第135回（6/10・16名）、  
第136回（7/8・15名）、第137回（10/14・14名）、第138回（11/11・11名）、  
第139回（12/9・14名）、第140回（1/13・16名）、第141回（2/10・13名）、  
第142回（3/9・14名）

### 【安全研究会】

公的機関及び企業・大学向けの教育資料作成と安全指導の実施を行った。

第119回 (4/6・12名)、第120回 (5/11・10名)、第121回 (6/1・12名)  
第122回 (7/6・10名)、第123回 (9/7・9名)、第124回 (10/5・11名)、  
第125回 (11/2・9名)、第126回 (12/7・10名)、第127回 (1/5・11名)、  
第128回 (2/8・12名)、第129回 (3/7・12名)

### 【MOT研究会】

化学産業において実際に役立つ研究開発テーマの発掘と育成をめざした実践的技術経営の検証を行った。

第10回 (4/15・11名)、第11回 (5/20・10名)、第12回 (6/17・9名)、  
第13回 (7/15・9名)、第14回 (9/16・7名)、第15回 (10/21・8名)、  
第16回 (11/18・9名)、第17回 (12/16・7名)、第18回 (1/20・7名)  
第19回 (2/17・10名)、第20回 (3/16・9名)

### 【専門部会事業】 (共益事業2)

化学の専門分野に応じた9の各専門部会を設置し、各専門部会が部会の目的に沿って部会員の活動の場となり、部会員が協力して科学技術の振興を図ることを目的に相互の学術的及び技術的知識の増進を図ることを目的として、例会(学術講演会)、基礎講習会、学術講習会、学術セミナー、討論会、シンポジウム、フォーラム、公開講演会、懇話会等を行う。

#### 第1部会(有機金属部会)

有機金属化学における基礎研究並びにスペシャリティケミカルズの開発に関する研究会として例会(学術講演会)・学術セミナー・討論会等の実施および知識普及事業として部会機関誌 Organometallic Newsを刊行した。

第1回例会・4月14日・大阪科学技術センター(20名)

①「ケイ素置換有機チタン化合物を利用する多様性を指向した不飽和系の構築」

東京農工大学大学院工学研究院 教授 武田 猛氏

②「有機金属化学の構図」

大阪大学産業科学研究所 特任教授 平尾 俊一氏

第2回例会・6月11日・中央大学後楽園キャンパス(129名)

①「結晶スポンジ法による非結晶性・極小量化合物のX線結晶構造解析」

東京大学大学院工学系研究科 教授 藤田 誠氏

②「遷移金属-ケイ素/ゲルマニウム多重結合の化学 -二重結合から三重結合へ-

東北大学大学院理学研究科 教授 飛田 博実氏

③「人工光合成の実用化に向けて」

名城大学 特任教授/梨花女子大学 教授 福住 俊一氏

第42回有機金属化学セミナー・6月12日・キャンパスプラザ京都(92名)

①「遷移金属錯体触媒反応を理解するための有機金属化学基礎知識」

奈良女子大学大学院自然科学系 教授 片岡 靖隆氏

②「C-H官能基化」

大阪市立大学大学院理学研究科 教授 佐藤 哲也氏

③「クロスカップリング反応」

京都大学化学研究所 教授 中村 正治氏

④「オレフィンメタセシス反応」

京都大学大学院工学研究科 教授 大江 浩一氏

⑤「遷移金属触媒反応を利用する高分子合成」

神戸大学大学院工学研究科 教授 森 敦紀氏

⑥トピックス「遷移金属触媒を用いるカルボキシル化反応の開発」

東京工業大学大学院理工学研究科 教授 岩澤 伸治氏

第62回有機金属化学討論会・9月7日~9日・関西大学千里山キャンパス(552名)

口頭発表 45件、ショートトーク、ポスター発表 196件

第3回例会・11月27日・岡山大学(88名)

①「新しいキラル分子ツール：ビナフチルカルコゲノリン酸誘導体」

岐阜大学工学部化学・生命工学科 教授 村井 利昭氏

②「金ナノ粒子の新しい含浸担持法の開発と日本酒の品質向上への応用」

九州大学大学院理学研究院 教授 徳永 信氏

③「銅触媒を用いる不飽和化合物の官能基化反応」

京都大学大学院工学研究科 教授 辻 康之氏

第4回例会・1月18日・大阪科学技術センター(49名)

①「有機典型金属の反応試剤、触媒としてのデザインと選択的合成反応への展開」

大阪大学大学院工学研究科 教授 安田 誠氏

②「遷移金属触媒を用いないハロゲン化アリールのカップリング反応」

関西学院大学理工学部環境・応用化学科 教授 白川 英二氏

③「光反応を活用する新規分子変換手法」

学習院大学理学部化学科 教授 草間 博之氏

部会機関誌 Organometallic News 2015 No.2, 3, 2016 No.1 (Web版), 2015冊子体刊行

## 第2部会(合成部会)

有機合成化学の基礎研究並びに医薬、農薬、エネルギー開発生体模倣材料の合成化学的開発に関する研究会として合成フォーラム等を実施した。部会内に設置されたフロー・マイクロ合成研究会では、自動合成やマイクロリアクターを使った合成に関する研究会として研究会(学術講演会)、公開講演会&展示会等を実施した。

第1回合成フォーラム・5月29日・シスメックス(株)(17名)

①「個別化医療の実現に向けて」 シスメックス(株)中央研究所 所長 吉田 智一氏

②「エピジェネティクス制御化合物の創製研究」

京都府立医科大学大学院医学研究科統合医科学専攻 教授 鈴木 孝禎氏

見学：研究開発拠点テクノパーク内

第13回国際有機化学京都会議(IKCOC-13)・11月9日~13日・リーガロイヤルホテル京都

組織委員長 京都大学大学院工学研究科 教授 村上 正浩氏

IKCOC賞授賞者：Dieter Seebach氏、基調講演3件、招待講演18件、一般口頭発表57件、ポスター329件、登録者数923名

## [フロー・マイクロ合成研究会]

第66回研究会・4月24日・大阪科学技術センター(46名)

①「フローマイクロリアクターを用いた高反応性化合物の合成研究」

日油(株)愛知事業所武豊工場研究開発部 中山 浩平氏

②「アリルシラン化合物の開発とフロー・マイクロ合成」

共栄社化学(株)研究本部新規事業開発室(兼)研究企画室 岡田 秀喜氏

③「韓国におけるフロー合成研究の現状と今後の動向」

京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻 特任助教 金 熙珍氏

第29回公開講演会—講演&展示—・7月10日・大阪科学技術センター(95名)

①「Continuous Flow Reactors :An Opportunity for the development of flexible & sustainable production processes」 Chemtrix Charlotte Wiles

②「フローリアクターを用いたイソブチレンのリビングカチオン重合」

(株)カネカ 生産技術研究所R&D第一グループ 豊田 俱透氏

③ 出展企業プレゼンテーション

④ 「ミリスケールの流通式反応器を利用したプロセス開発」

神戸大学大学院工学研究科 堀江 孝史氏

⑤ 「二核Rh(II)錯体を用いる不斉触媒反応：不溶性高分子担持型Rh(II)錯体の創製とフロー合成への展開」

北海道大学名誉教授 橋本 俊一氏

⑥ 「研究会顧問幹事 銅金 巖氏を偲んで」

元住友化学(株)・元九州大学 岡本 秀穂氏/京都大学大学院工学研究科 吉田 潤一氏  
=展示= 自動合成・マイクロ合成装置などのデモ

(株)タクミナ、(株)DFC、(株)中村超硬、(株)日本サイエンスコア、富士テクノ工業(株)、メトラー・トレド(株)、(株)ワイエムシィ

第68回研究会・10月8日・大阪科学技術センター(59名)

① 「光フロー反応を用いるフェナセンの効率的合成」

岡山大学大学院自然科学研究科 准教授 岡本 秀毅氏

② 「MR研究者が知っておくべき各種ポンプの特徴と違い」

(株)タクミナ 開発センター流体機器開発課 課長 荒井 秀紀氏

③ 「反応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創成」

大阪大学大学院理学研究科 教授 深瀬 浩一氏

第69回研究会・1月29日～30日・ホテルパーク(51名)

① 「不斉水素化反応へのフロー・マイクロリアクターへの適用」

高砂香料工業(株)磐田工場新事業開発研究所プロセス開発部 山本 哲也氏

② 「フローケミストリー技術を用いたスケールアップ」

武田薬品工業(株)CMC研究センター製薬研究所 白谷 弘次氏

③ 「ナスフラスコが苦手とする反応へのマイクロリアクターの適用」

岐阜薬科大学創薬化学大講座合成薬品製造学研究室 教授 伊藤 彰近氏

④ 「Pacifichem 2015: Prospects for Flow Chemistry Symposiumハイライト」

京都大学大学院工学研究科 特定助教 金 熙珍氏

自由討論「フローマイクロ合成に関する意見交換」

### 第3部会(触媒・表面部会)

触媒化学の基礎研究並びにファインケミカルズ開発の触媒設計等に関する研究会としてキャタリストクラブ例会(学術講演会)、学術セミナー、学術講習会等を実施した。

第1回キャタリストクラブ例会・6月19日・大阪大学中之島センター(21名)

① 「バイオマスからの有用化学品合成に向けた協奏機能触媒の開発」

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 水垣 共雄氏

② 「ゼオライト触媒による低級炭化水素の活性化とプロピレン合成」

東京工業大学大学院総合理工学研究科 教授 馬場 俊秀氏

入門触媒科学セミナー・10月5日～6日・大阪科学技術センター(42名)

① 「触媒科学の基本概念—これだけは知っておこう」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松岡 雅也氏

② 「固体表面の酸・塩基点とその触媒機能」

北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 教授 海老谷幸喜氏

③ 「金属酸化物触媒—多様な触媒機能の宝庫—」

京都大学大学院工学研究科 准教授 寺村謙太郎氏

④ 「錯体の触媒作用—遷移金属錯体の基礎と有機合成反応における利用」

- 関西大学化学生命工学部 教授 大洞 康嗣氏
- ⑤「金属表面と触媒作用ーパラジウムなどの貴金属ナノ粒子触媒の設計」  
大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 水垣 共雄氏
- ⑥「触媒調製化学ー基礎から最近のナノ構造触媒までー」  
大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏
- 第2回キャタリストクラブ例会【第8回触媒表面化学研究発表会】・10月30日  
・関西大学（51名）
- ①「二酸化炭素の分子変換反応を触媒する酵素を用いた人工光合成システムの創製」  
大阪市立大学 複合先端研究機構 教授 天尾 豊氏
- ②ショートトーク、ポスターセッション  
ナノ材料の表面分析講習・11月25日～26日・大阪府立大学（48名）
- ①「表面分析概論」 関西大学環境都市工学部 教授 三宅 孝典氏
- ②「X線回折(XRD)・蛍光X線」  
京都大学学際融合教育研究推進センター 准教授 細川 三郎氏
- ③「MS, SIMS」 神戸大学大学院工学研究科 准教授 市橋 祐一氏
- ④装置見学
- ⑤「TEM・SEM・STM・AFM」 近畿大学理工学部 教授 古南 博氏
- ⑥「XAFS」 徳島大学大学院総合科学教育部 准教授 山本 孝氏
- ⑦「核磁気共鳴(NMR)」 香川大学医学研究院 教授 和田 健司氏
- ⑧「電子スピン共鳴(ESR)」 大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松岡 雅也氏
- ⑨「紫外可視・光ルミネセンス」 大阪工業大学工学部 准教授 東本 慎也氏
- ⑩「X線光電子分光法(XPS)」 大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 竹内 雅人氏
- ⑪「昇温スペクトル(TPD・TPR)」 京都大学大学院工学研究科 准教授 寺村謙太郎氏
- ⑫「赤外・ラマンスペクトル」 関西大学環境都市工学部 教授 池永 直樹氏
- ⑬「総論・ケーススタディー」 京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 吉田 寿雄氏
- 第3回キャタリストクラブ例会・1月15日・大阪大学中之島センター（23名）
- ①「計算化学40年：出来たこと、出来なかったこと、若い人への期待」  
京都工芸繊維大学材料化学系 教授 小林 久芳氏
- ②「新しい全無機結晶ポーラスポリオキシメタレートの合成と触媒表面化学」  
神奈川大学工学部物質生命化学科 教授 上田 渉氏

#### 第4部会（ヘテロ原子部会）

脱硫、脱硝に伴う副生物の有効利用、ヘテロ原子化学の基礎研究並びに応用開発に関する研究会として懇話会（学術講演・見学会）等を実施した。

第1回懇話会・5月20日・神戸薬科大学（20名）

①神戸薬科大学薬用植物園見学

②「エポキシドの開環方向を制御したカロテノイドのbiomimeticな全合成」

神戸薬科大学生命有機化学研究室 准教授 山野由美子氏

③「含窒素バッキーボウルの合成」 大阪大学大学院工学研究科 教授 櫻井 英博氏

第2回懇話会・11月26日・月桂冠(株)（16名）

①「古くて新しい硫黄と窒素のヘテロ原子化学ー金属錯体触媒反応と核磁気三重共鳴ー」

元京都大学化学研究所 教授 年光 昭夫氏

②「伏見のお酒 これまでとこれから」

月桂冠(株) 常務取締役／総合研究所長 秦 洋二氏

③月桂冠(株)大倉記念館・大手蔵醸造工場見学

第3回懇話会・2月10日・大阪科学技術センター（18名）

①「カルボアニオンの反応性制御を基盤とする多置換ヘテロ芳香族化合物の合成」

神戸大学大学院工学研究科 講師 岡野健太郎氏

②「グリーンケミストリーを目指したヘテロ原子化合物の合成—未利用資源を活用するカーボネート類の合成等—」

(地独)大阪市立工業研究所有機材料研究部 研究主任 三原 正稔氏

③「有機発光デバイスを指向した高機能りん光性有機金属錯体の創製」

大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 八木 繁幸氏

#### 第5部会（バイオ部会）

バイオテクノロジーの基礎研究並びに工業生産技術開発に関する研究会として例会（学術講演会）等を実施した。

第1回例会・7月23日・サントリーワールドリサーチセンター（23名）

①「サントリーワールドリサーチセンターの紹介とオープンイノベーションについて」

サントリーグローバルイノベーションセンター(株) 山本誠一郎氏

②「生豆成分はコーヒーのクオリティーを決定する」

サントリーグローバルイノベーションセンター(株) 中原 光一氏

公開講演会「バイオ部会講演会&酒蔵ツアー」・3月31日・大阪科学技術センター／月桂冠(株)大倉記念館（38名）

①「ユーグレナ（ミドリムシ）の食品素材としての効用と健康寿命延長への期待」

大阪府立大学地域連携機構生物資源開発センター 客員教授

大阪府立大学名誉教授 中野 長久氏

②「お酒のこれまでとこれから」 月桂冠(株) 常務取締役総合研究所長 秦 洋二氏

#### 第6部会（機能性色素部会）

機能性色素材料の基礎研究並びにデザイン、合成、物性等に関する研究会として例会（学術講演会）、公開講演会を実施した。

第89回例会・4月28日・大阪科学技術センター（39名）

テーマ「フタロシアニン色素最前線」

①「最近の顔料技術動向—顔料物性研究会活動を通じて—」

D I C (株)精密合成技術本部 主席研究員 船倉 省二氏

②「ノン-ペリフェラル位に置換基を有するフタロシアニンおよびサブフタロシアニン」

日本大学生産工学部応用分子科学科 教授 坂本 恵一氏

③「フタロシアニンの応用と応用を意識した研究」

信州大学繊維学部 特任教授 小林 長夫氏

見学・研修セミナー・7月22日・神戸天然物化学(株)バイオリサーチセンター（41名）

[エレクトロニクス部会と共催]

見学会

①神戸天然物化学(株)バイオ・機能性材料部門に関するプレゼンテーション

②同所 バイオリサーチセンター見学

講演会

③「ナノマテリアルとバイオセンサの研究」

大阪大学大学院工学研究科精密科学・応用物理学専攻 教授 民谷 栄一氏

第7回機能性色素および先端材料に関する東アジアシンポジウム・9月2日～5日・大阪府立大学（242名）

基調講演 9 件、招待講演 4 8 件、一般口頭発表 6 件、ポスター発表 8 5 件  
農工連携による波長変換資材の開発に関する公開シンポジウム～ものづくり中小  
企業・小規模事業者連携支援事業の紹介～・10月29日・大阪府立大学I-site  
なんば [大阪府立大学と共催]

①「農園芸用波長変換資材の現状と展望」 高知大学名誉教授 吉田 勝平氏

②「イチゴの栽培技術の歩みと最近の研究成果」

奈良県農業研究開発センター 総括研究員 西本 登志氏

③「農工連携による波長変換資材の製品規格の構築と工業化事業の推進」の  
概略説明」 大阪府立大学大学院工学研究科 教授 中澄 博行氏

第90回例会・1月13日・大阪科学技術センター（35名）

テーマ「色材発展の歴史を辿る－染料から機能性色素へ－」

①「草木染から機能性色素へ－染料と染色の化学史－」

山田化学工業(株)開発部色材課 課長 古賀 達也氏

②「テキスタイル向けインクジェット加工（インク）技術について～ビスコテック  
スとその加工（インク）技術～」

セーレン(株)TPF事業所ビスコテックスセンター

ビスコテックス研究部 主査 高坂 貴浩氏

③「フタロシアニン系近赤外吸収色素のデザイン技術」

(国研) 理化学研究所 内山元素化学研究室 村中 厚哉氏  
機能性色素・エレクトロニクス部会合同講演会・3月7日・千里ライフサイエンスセンタ  
ー [エレクトロニクス部会と共催]（63名）

テーマ「有機エレクトロニクスの最前線」

①「フレキシブル有機薄膜太陽電池の開発と今後の展開」

三菱化学(株)理事 情報電子本部OPV事業推進室 室長 山岡 弘明氏

②「高効率ポリマー系太陽電池の材料開発最前線」

(国研)理化学研究所 創発物性科学研究センター 上級研究員 尾坂 格氏

③「有機エレクトロニクスを取り巻く現状認識」

(株)野村総合研究所 ICT・メディア産業コンサルティング部

グループマネージャー・上級コンサルタント 藤浪 啓氏

④「印刷型有機薄膜トランジスタの高性能化と応用展開」

山形大学有機エレクトロニクス研究センター

センター長・卓越研究教授 時任 静士氏

⑤「分子の機能を活かした「やわらかい」熱電材料の探索」

奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科 教授 中村 雅一氏

⑥「進化する有機無機ハイブリッド太陽電池」

東京大学先端科学技術研究センター 教授 瀬川 浩司氏

## 第7部会 (エレクトロニクス部会)

電子材料の新素材研究と学際領域の技術開発に関する研究会として例会（学術講演会）、  
研修セミナー、公開講演会等および、部会機関誌 Electronics Communicationsを刊行した。

第1回研究会・5月19日・大阪科学技術センター（23名）

テーマ：進化するエネルギーハーベスト構想とその先端技術

①「エネルギーハーベスティング技術の開発動向と周辺状況」

(株)NTTデータ経営研究所 社会・環境戦略コンサルティングユニット

シニアマネージャー 竹内 敬治氏

②「太陽光発電の現状と将来について」

(株)クリーンベンチャー21 取締役 中野 昭一氏

③「IoT時代を支える環境発電技術としての有機熱電変換素子：材料・素子構造に対する要求と研究の現状」

奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 特任教授 中村 雅一氏

④「蓄電池 (LiS 二次電池) の現状と今後の展開」

(株)アルバック 超材料研究所 副所長・フェロー 村上 裕彦氏

見学・研修セミナー・7月22日・神戸天然物化学(株)バイオリサーチセンター

〔機能性色素部会と共催〕 〔前出〕

第7回機能性色素および先端材料に関する東アジアシンポジウム・9月2日～5日・

大阪府立大学 〔機能性色素部会と共催〕 〔前出〕

第2回研究会・11月27日・大阪科学技術センター (20名)

テーマ：安全・安心のためのセンサーを支える技術と材料

①「車載カメラモジュールおよびWLO(Wafer Level Optics)の市場・技術動向」

元 (株)東芝/共創企画 代表 中條 博則氏

②「バイオ/化学センサによるドライバー&車室内環境の日常モニタリングの可能性について」

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授 三林 浩二氏

③「道路インフラモニタリングプロジェクト (RIMS) の概要と成果」

東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 下山 勲氏

機能性色素・エレクトロニクス部会合同公開講演会・3月7日・千里ライフサイエンスセンター 〔機能性色素部会と共催〕 〔前出〕

部会機関誌 Electronics Communications No.31 刊行

## 第8部会 (コンピュータ化学部会)

物質のデザイン、生産工程のコントロール、人工知能開発研究に関する研究会として例会 (学術講演会)、公開講演会、公開セミナー等を実施した。

公開講演会 (第93回例会) ・6月22日・大阪産業創造館 (19名)

テーマ「ソフトマターの粗視化シミュレーション」

①「全原子モデルからの粗視化モデリング～自己組織化膜系への応用～」

名古屋大学大学院工学研究科 化学・生物工学専攻 准教授 篠田 渉氏

②「高分子の長時間ダイナミクスのシミュレーション」

名古屋大学ナショナルコンポジットセンター 教授 増淵 雄一氏

③「高分子のSCF法を利用した相分離構造のシミュレーション」

日本ゼオン(株)総合開発センター基盤技術研究所 主席研究員 本田 隆氏

公開講演会 (第94回例会) ・10月22日・大阪産業創造館 (13名)

テーマ「スーパーコンピュータが拓く新しい創薬研究—スパコン創薬の現状と未来—」

①「次世代スパコン・ポスト「京」が拓くコンピュータ創薬の展望」

京都大学大学院医学研究科 特定教授 奥野 恭史氏

②「分子シミュレーションによる結合自由エネルギー計算の理論と応用」

東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授 山下 雄史氏

③「分子動力学シミュレーションを使用した創薬分野での応用研究事例」

(国研)理化学研究所 計算科学研究機構 プロセッサ研究チーム 研究員 荒木 望嗣氏

公開講演会 (第95回例会) ・1月29日・大阪産業創造館 (14名)

テーマ「触媒設計を目指した理論計算化学」

①「次世代エネルギー分野における計算化学の実践応用」



- 九州大学稲盛フロンティア研究センター 教授 古山 通久氏
- ②「金ナノクラスター触媒のヘテロ接合効果による触媒機能発現機構の理論的解明」  
大阪大学大学院理学研究科化学専攻 教授 奥村 光隆氏
- ③「金属微粒子触媒の理論計算化学」  
自然科学研究機構 分子科学研究所計算科学研究センター 教授 江原 正博氏

### 第9部会（重合工学部会）

重合体製造プロセスに関する研究会として例会（学術講演会）、重合プロセスの基礎講習会、重合工学レクチャーシリーズ、塩ビフォーラム等を実施した。

第1回例会・6月5日・大阪科学技術センター（23名）

- ①「フタレート系可塑剤の規制動向」 可塑剤工業会 技術部長 柳瀬 広美氏
- ②「PVC等高分子ゲル・エラストマーを用いた柔軟自律応答材料（人工筋肉）への応用」  
信州大学名誉教授／特任教授 平井 利博氏

重合プロセスの基礎講習会・10月15日～16日・日本薬学会長井記念館（21名）

- ①「日本の高分子工業の現状と課題」 日本ゼオン(株)生産革新センター 浅野 健治氏
- ②「高分子の合成 I—ラジカル重合速度論と反応器設計—」  
大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 安田 昌弘氏
- ③「乳化重合プロセスの反応操作設計」神戸大学大学院工学研究科 教授 大村 直人氏
- ④「高粘度流体の攪拌・混合」 大阪大学名誉教授 平田 雄志氏
- ⑤「熱量計を用いた重合反応速度解析—反応熱の可視化—」  
福井大学大学院工学研究科准教授 鈴木 清氏
- ⑥「重合反応装置の基本設計と事例紹介」  
住友重機械プロセス機器(株)事業開発部攪拌技術 グループリーダー 彌富 隆一氏
- ⑦「ポリマー分離工程における押出機の適用」  
(株)日本製鋼所 広島製作所樹脂製造機械技術グループ 高本 誠二氏
- ⑧「PVCものづくりの現状と将来—プロセスから製品化—」元(株)カネカ 一色 実氏

重合工学レクチャーシリーズNo. 3 ・11月19日・大阪科学技術センター（61名）

- ①「乳化重合反応の動力学と反応装置」  
福井大学名誉教授／轟産業(株)R&Dセンター 技術顧問 埜村 守氏
- ②「JSR 合成ゴム50年の歩み」  
JSR(株)生産技術センター 技術開発部部長 石川 英一氏
- ③「単分散高分子微粒子の合成と多機能化」  
東北大学大学院工学研究科 教授 今野 幹男氏
- ④「高分子微粒子の高機能化とその応用」  
積水化学工業(株)高機能プラスチックカンパニー開発研究所  
主席研究員 脇屋 武司氏
- ⑤「懸濁重合の動力学と粒径制御」大阪府立大学大学院工学研究科准教授 安田 昌弘氏
- ⑥「懸濁重合によるイオン交換樹脂とHPLC担体の製造」  
お茶の水女子大学リーディング大学院推進センター 副センター長 高柳 弘昭氏
- 第7回塩ビフォーラム・12月4日・住友不動産六甲ビル（74名）
- ①「世界のPVC製造技術」 元チッソ(株)ビニール事業部 内田 誠一氏
- ②「塩ビ系防水シートの現状と今後の展望」  
ロンシール工業(株)研究・開発部グループリーダー 小倉 政人氏

③「塩ビの世界市場の動向について」

三井物産(株)機能化学品本部 塩ビ樹脂事業室長 江本 浩章氏

**【学協会との連携及び合同事務局の運営事業】**（共益事業4）

1. 学協会との連携及び合同事務局運営事業

一般社団法人近畿化学協会・公益社団法人日本化学会近畿支部・公益社団法人化学工学会関西支部・公益社団法人日本分析化学会近畿支部・公益社団法人有機合成化学協会関西支部の5法人で「合同事務局運営委員会」を組織して合同事務局の運営を行った。

2. 関連学協会行事協賛

化学分野の学術団体が主催する学術セミナー・学術講演会などの行事に協賛し、内容を会誌などで会員に周知した。会員が行事に参加する場合は各主催者で定めた割引費用で参加できる。

## 平成27年度事業報告の付属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。